

# ONLY ONE

## オンリーワン企業紹介

タンポポで地域再生を目指すNPO法人よしかタンポポの会。企画販売を担うよしかタンポポプランニングでは、稀少な日本タンポポを使用した様々な商品を開発している。



## タンポポで町おこし！たんぽぽ博士の挑戦

### “郷づくり”にかける情熱

学校が消え、農協が消え、過疎化していく地域——。故郷の復活のため、今野孝一さんは先陣を切って走り続けてきた。再生を担うのは、峰吉川地域で栽培される日本タンポポ“よしかタンポポ”だ。「タンポポで地域おこしをしよう」と決めたのは約20年前。ブランド化の前例がなく、環境指標植物であることから、豊かな自然環境や作物の安全性をアピールできるシンボルになると考えました」。今野さんは、地域の講演会や市の活性化事業に参加し同志を増やしながら、よしかタンポポの栽培に尽力。2019年、NPO法人よしかタンポポの会が発足した。

食品事業の経験をもとに、タンポポ商品の開発・販売に向かった今野さんだったが、“珍しさで売れるのでは”という期待に反しその道のりは平坦ではなかった。自社と協力工場の加工技術を武器に、道の駅や観光施設などにご当地商品の企画を提案し、信頼関係を築きながら、地道に販路を拡大してきた。開発した商品はその数なんと約80品。「人が面倒だからとやらないことをやる。大事にしているのは“泥臭さ”と“スピード感”です」。



### 峰吉川を日本タンポポで元気に

無添加・無農薬の日本タンポポの葉の部分を使った「よしかタンポポパウンドケーキ」や「燻り大根たんぽぽ麦酒漬け」、「タンポポ塩あめ」に加え、タンポポ以外のご当地商品も多く生み出している今野さんが目指すのは、「よしかタンポポコーヒー」を主力商品として安定的に出荷するための栽培・生産体制を確立すること。まろやかでやさしい苦みが特長のタンポポコーヒーは、貴重な根を丁寧な手作業により粉末化し、繰り返し焙煎して完成する。古くから漢方薬として使われるタンポポは栄養豊富で、ノンカフェインのため妊娠・授乳中でも飲むことができる。秋田杉を使用した高級感のある箱で、贈り物にも喜ばれているという。

タンポポの研究や商品開発をするうちに、いつしか「たんぽぽ博士」と呼ばれるようになったという今野さん。約20年前、今野さんが峰吉川で採取した1本のタンポポは、長い年月をかけて10万本にまで増えた。郷土を愛するたんぽぽ博士の挑戦はまだまだ続く。



豊かな大地の香りが広がる「よしかタンポポコーヒー」

### よしかタンポポプランニング

〒019-2431  
秋田県大仙市協和峰吉川字高見47  
TEL.018-838-7575  
<https://yoshika-tanpopo-pl.com/>

#### ●会社概要

2019.6設立。日本タンポポ(商標はよしかタンポポ)の葉や根を使用しての商品開発、製造。道の駅を中心とした卸販売。オンラインショップでの小売、通信販売。地域の特産品を使用したオリジナル商品開発、製造。コンサルタント。講演。

代表  
**今野 孝一**  
このの こういち

